


特に入院費と調剤費が増加傾向！

医療費の内訳は《表2》のとおりで、入院外（外来）や歯科・訪問看護・現金給付（補装具等）は、前年度と比較して減少しているにもかかわらず、入院費（食事療養費・生活療養費含む）と調剤費が増加しているため、市の老人医療費を押し上げているのがわかります。

《表2》医療費の内訳

区分	件数	医療費総額	対前年	1件当たり 日数	県 順位	1件当たり 金額	県 順位	1件当たり 医療費	県 順位	
医科	入院	7,692件	2,847,695,760円	102.79%	20.80日	8	17,791円	38	551,665円	8
	入院外	72,790件	1,222,229,770円	94.21%	2.12日	44	7,933円	7	236,774円	44
歯科	6,625件	111,833,640円	93.79%	2.71日	21	6,239円	34	21,665円	21	
食事療養費 生活療養費	7,402件	295,821,238円	89.55%					57,307円		
調剤	50,553件	689,387,280円	104.96%					133,550円		
訪問看護	17件	4,007,000円	98.51%					776円		
現金給付	587件	8,039,809円	92.53%					1,557円		
合計	145,666件	5,179,014,497円	99.47%					1,003,296円		

入院費が高額となっている理由は、長期入院者が多いことによるものです。1日当たりの金額は県下38位であるのに対し、1件当たりの日数が約21日（県下8位）と長く、そのため1人当たりの金額が高額となり、結果的に県下で3位となっています。入院外（外来）については、1件当たりの日数は約2.12日（県下44位）で低いにもかかわらず、1日当たりの診療費は県下7位となっています。これは、かかりつけの医療機関とは別の医療機関をはしご受診することにより、検査等が重複した結果、1回の診療費が高くなったためではないかと推測できます。同じ病気で複数の医療機関を受診することで、薬剤の重複投与等にもつながり、《表2》のように調剤費が増加していると考えられます。薬剤を過剰に摂取すると身体に悪影響があるため、市では診療報酬請求明細書（レセプト）の内容で確認できた場合には、保健師や看護師による訪問指導を行っています。かかりつけの医療機関とは別の医療機関を受診される場合には、現在の治療内容や服用している薬剤について、正しく医師や薬剤師に伝え、検査の重複や薬剤の過剰摂取がないようにお願いします。

医師も薬剤師も、患者自身からの情報がなければ適切な診療を行うことが出来ません。正しく医療機関を受診することが、医療費の適正化にもつながり、結果的には自分自身を守ることになります。



右の順位からわかるように、阿蘇市は、老人医療費が非常に高く、医療費が一番低い五木村と比較すると1年間に1人当たり約38万円もの差があります。

今年の11月からは、平成14年度の制度改正に伴う新たな75歳到達の老人医療受給者が増えることから、医療費総額は更に増加するものと思われます。医療費が高くなれば、市の負担も多くなりますので、普段から健康管理に心がけ、いきいきと楽しい生活を送りましょう。

老人医療についてのお問い合わせは、高齢者支援課 老人保健係 22-3145

■低位順■

- 48位 五木村 623,998円
- 47位 湯前町 640,601円
- 46位 多良木町 693,225円
- 45位 相良村 700,896円
- 44位 和水町 725,034円
- 43位 球磨村 734,407円
- 42位 あさぎり町 738,945円